

令和 6 (2024)年度 文部科学省委託 ユネスコ未来共創プラットフォーム事業

令和 6 (2024)年度

ユネスコスクール年次活動調査結果

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)

目次

令和 6 (2024)年度ユネスコスクール年次活動調査に関して	5
令和 6 (2024)年度ユネスコスクール年次活動調査 結果	5
調査方法	5
今年度の活動についての調査	6
ユネスコスクールとしての体制整備状況について	6
国内外の学校間交流について	1 1
外部団体との連携について	1 6
ESD の推進拠点としての活動成果の発信	2 1
ユネスコスクールとしての活動の成果	2 2
ユネスコスクールに求められる活動	2 2
ESD と SDGs の関係に関する認知度	2 5
ユネスコスクールとしての活動による変化	2 6
ユネスコスクール支援の利用状況	3 0

《 図表目次 》

図 1 学校規模（幼児児童生徒数）	5
図 2 学校規模（教職員数）	5
図 3 担当者設置の有無	6
図 4 ユネスコスクール担当者の役職	6
図 5 ユネスコスクール担当者の年齢層	8
図 6 学校全体で組織的・継続的に取り組むための工夫	9
図 7 外国語での情報発信、交流の環境整備状況	1 0

図 8 ユネスコスクールの活動にかかる費用の捻出方法	1 0
図 9 国内外の学校との交流（ユネスコスクールに限定しない）	1 1
図 10 学校間交流を実施するようになったきっかけ	1 1
図 11 「国内の」学校間交流で実施した交流活動方法	1 2
図 12 「国外の」学校間交流で実施した交流活動方法	1 2
図 13 学校間交流の主な成果	1 3
図 14 学校間交流の主な課題	1 3
図 15 学校間交流に関する情報収集先	1 4
図 16 国内外のユネスコスクールとの交流	1 4
図 17 国外交流校の地理区分	1 5
図 18 交流しなかった理由	1 5
図 19 外部団体との連携の有無	1 6
図 20 連携先の外部団体	1 7
図 21 外部団体との連携内容	1 8
図 22 外部団体と交流したことによる主な成果	1 9
図 23 外部団体と交流したことによる主な課題	1 9
図 24 校外における ESD・ユネスコ活動に関する研修への参加の有無	2 0
図 25 ユネスコスクールに係る教育活動の実践等の発信、理念の普及	2 1
図 26 成果の発信・普及方法	2 1
図 27 ユネスコスクールが重点的に取り組む 3 つの分野のうち、特に活動成果のあるもの	2 2
図 28 国際デーを取り上げた学校行事	2 2
図 29 ユネスコスクールの教育活動で取り上げた SDGs17 の目標	2 4
図 30 「ESD:SDGs 達成に向けて（ESD for 2030）」の認知度	2 5
図 31 SDGs 目標 4（教育）ターゲット 4.7 の認知度	2 5

図 32 ユネスコスクールにおける教育活動を通じた育みたい資質・能力の明確化	2 6
図 33 ユネスコスクールとして身に付いた資質・能力を捉えるための評価	2 6
図 34 ユネスコスクールにおける教育活動を評価するための評価方法	2 7
図 35 最も変化の見られた持続可能な社会づくりを構成する 6 つの視点	2 7
図 36 ユネスコスクールの教育活動による教員のカリキュラム・教授法の変化	2 9
図 37 ユネスコスクールの教育活動による教員の学校運営の変化	2 9
図 38 ユネスコスクール事務局の利用状況	3 0
図 39 ユネスコスクール公式ウェブサイトの利用状況	3 1
図 40 ユネスコスクール公式ウェブサイト機能の利用状況	3 1
図 41 ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)からの協力・支援内容	3 2
表 1 ユネスコスクールの活動にかかる費用助成団体	1 0
表 2 学校間交流に関する支援団体/ネットワーク	1 4
表 3 外部団体と交流することになった主なきっかけ	1 8
表 4 研修会を主催していた主な団体	2 0
表 5 学校行事で取り上げた主な国際デー	2 3
表 6 ユネスコスクール活動を通して身についた主な資質・能力	2 8
表 7 児童生徒の変化を促した主なきっかけ	2 8
表 8 ユネスコスクール事務局に求める支援内容	3 0
表 9 ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)からのその他の支援	3 2

令和 6 (2024) 年度ユネスコスクール年次活動調査に関して

令和 6 (2024) 年度のユネスコスクール活動調査（以下「活動調査」という）は、文部科学省から委託を受け、ユネスコスクール事務局である公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)によって令和 6 (2024) 年12月19日～令和 7 (2025) 年2月14日の間に行われたものである。

この活動調査は、今後のユネスコスクールの活動の一層の振興に向けて、ユネスコスクールの現状、課題、成果等を把握することを目的に実施したものである。調査内容は令和 6 (2024) 年度の学校の取組（令和6(2024)年4月～令和7(2025)年3月）を対象としている。

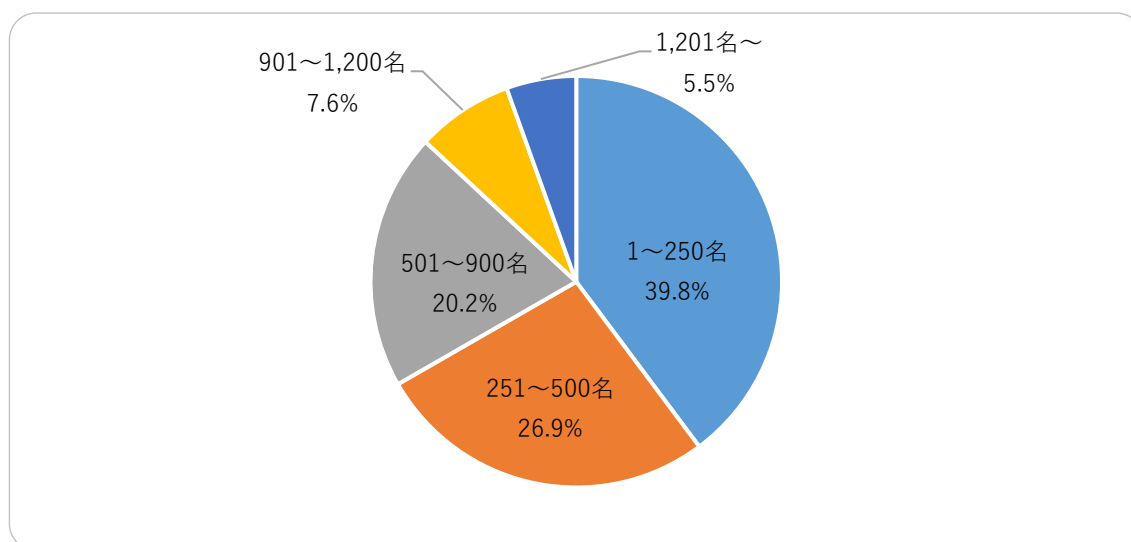
本報告書内の記述回答に関する分析は、簡易的な記述統計から浮かび上がる論点について整理したものであり、厳密な統計分析作業を経て導かれたものではない。また、複数選択可の設問では、数値の合計は100%を超える場合がある。回答数の表記については、回答校数 = n、回答総数（複数回答ののべ数） = Nとする。

令和 6 (2024) 年度ユネスコスクール年次活動調査 結果

調査方法

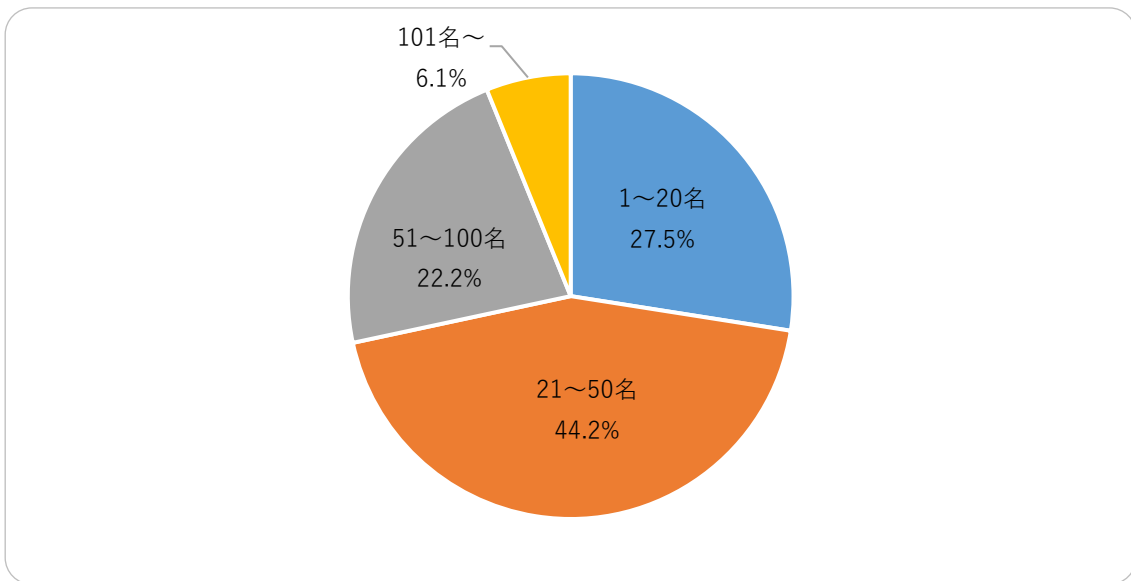
令和 6 (2024) 年度活動調査は、全ユネスコスクール加盟校979校に対してウェブ回答によって回答協力を募った。最終的には342校（回答率約35.0%）から回答を得ることができた（前年度より8.0%減↓）。活動調査の依頼方法は、公式ウェブサイトへの掲示、全加盟校へメールにて周知をおこなった。回答した学校の基礎情報は以下のとおりである。

図 1 学校規模（幼児児童生徒数）



[n=342]

図 2 学校規模（教職員数）

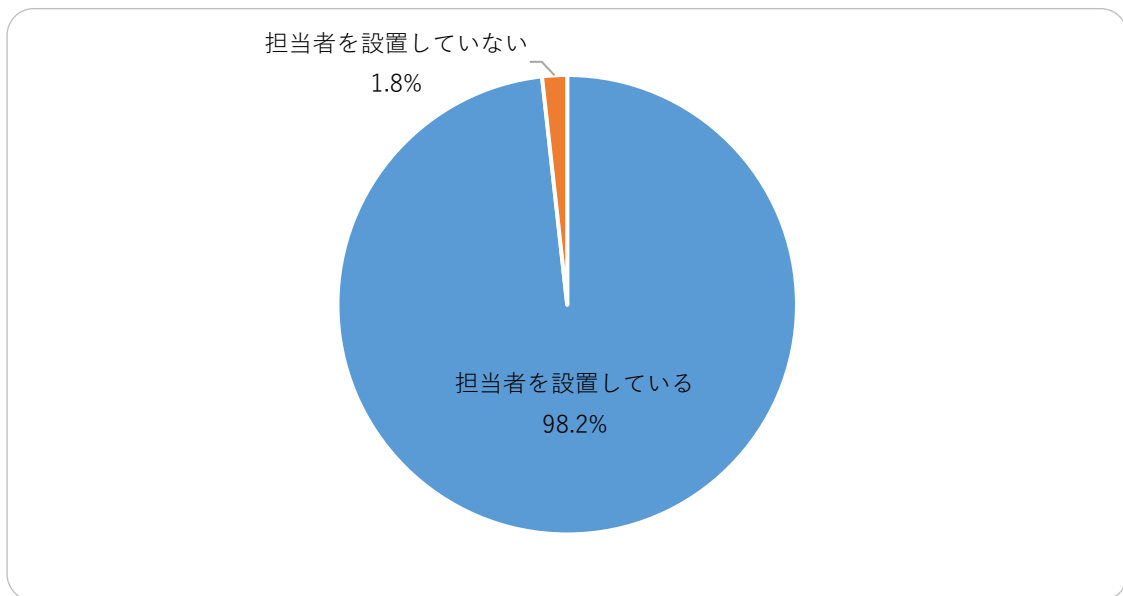


(n=342)

今年度の活動についての調査

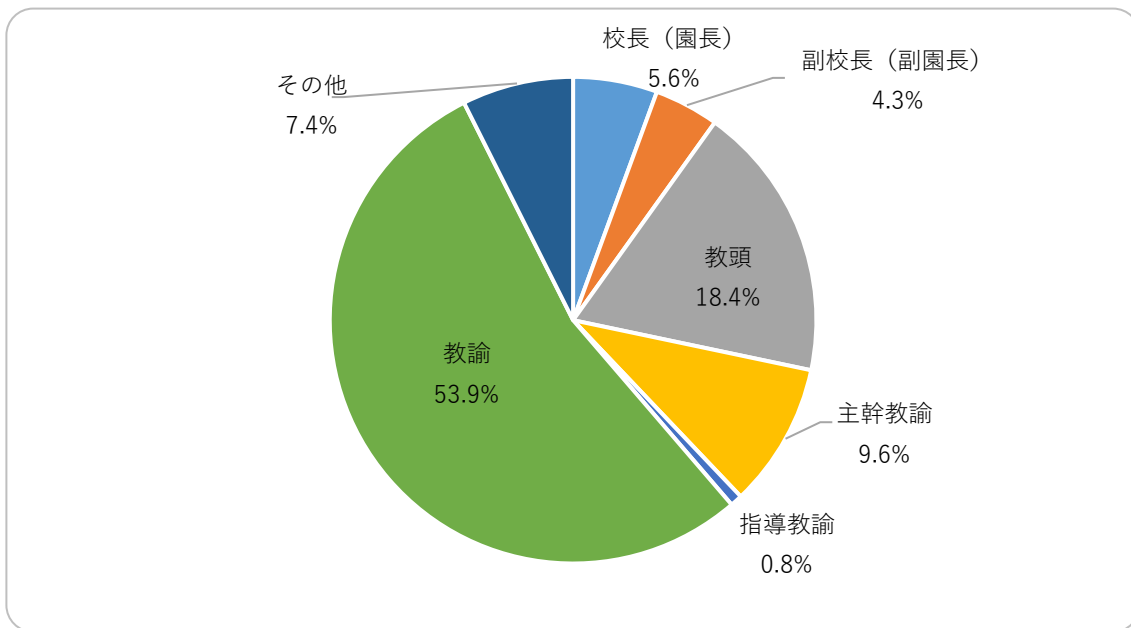
ユネスコスクールとしての体制整備状況について

図 3 担当者設置の有無



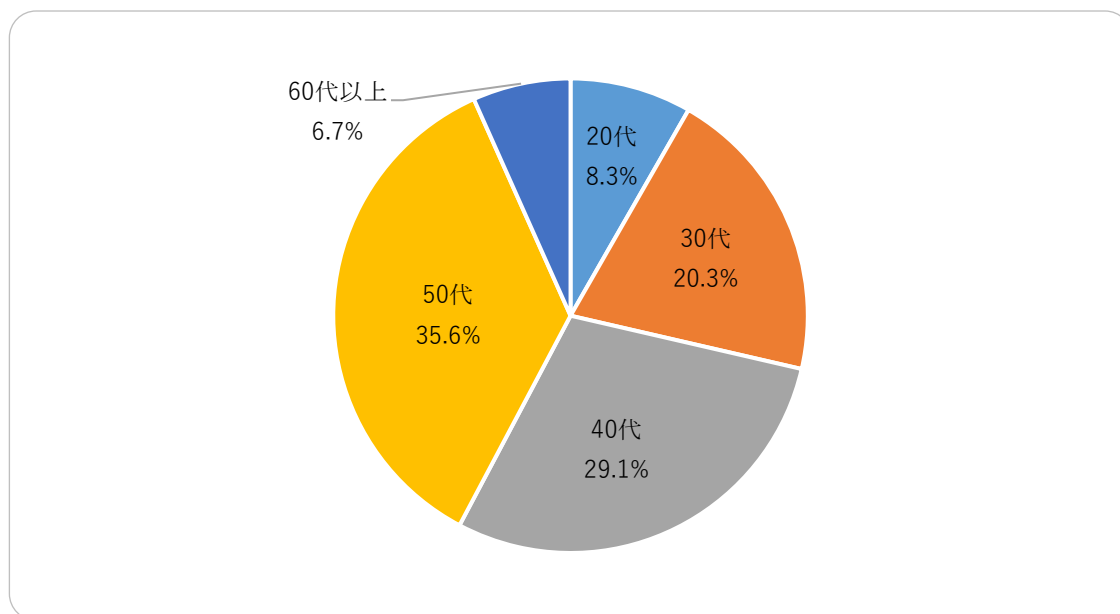
(参照：1. ① 質問 1) (n=342)

図 4 ユネスコスクール担当者の役職



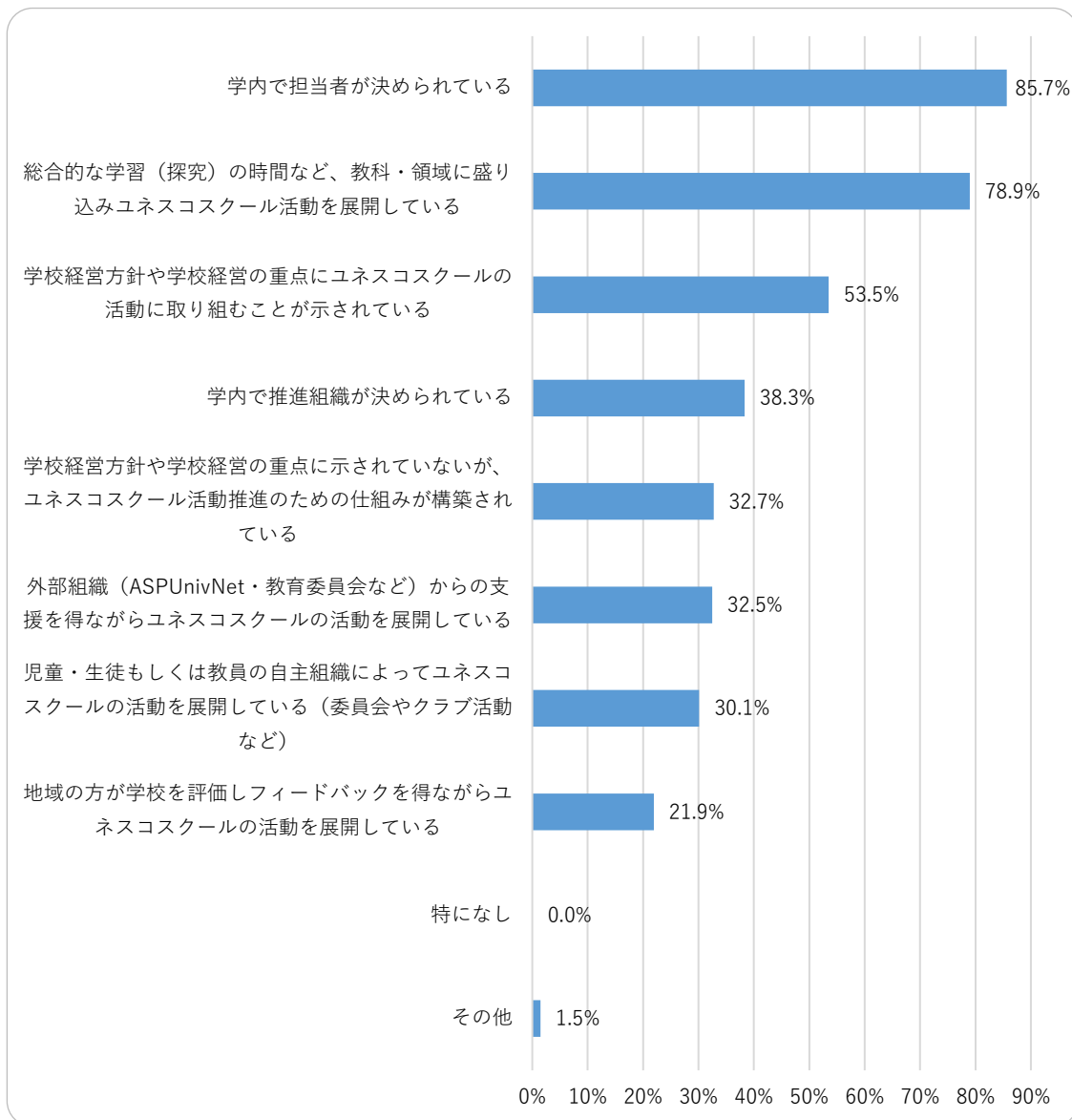
（参照：1. ① 質問 2 ※複数回答可）〔n=336〕〔N=375〕

図 5 ユネスコスクール担当者の年齢層



(参照：1. ① 質問3 ※複数回答可)〔n=336〕〔N=374〕

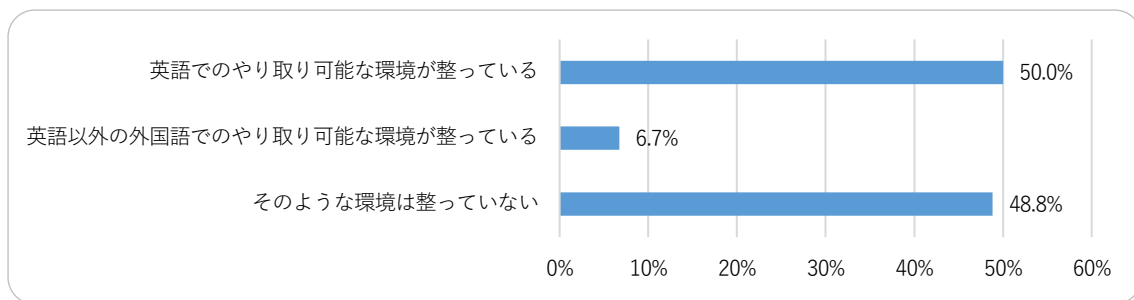
図 6 学校全体で組織的・継続的に取り組むための工夫



（参照：1. ① 質問 4 ※複数選択可）〔n=342〕〔N=1,283〕

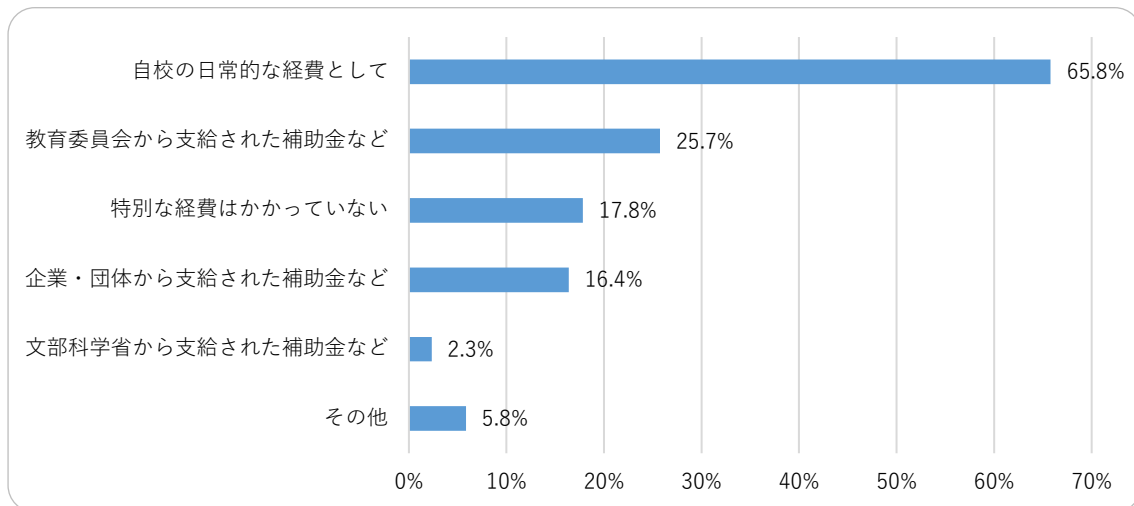
その他の主な回答：「様々な活動と関連付けながらユネスコスクールの活動を展開」「学校設定教科（「ゼミ」）の選択科目に『ユネスコゼミ』がある」「関連する教科のカリキュラムに明確に位置付けて実施することを明記」

図 7 外国語での情報発信、交流の環境整備状況



(参照：1. ① 質問 5 ※複数選択可) [n=342] [N=361]

図 8 ユネスコスクールの活動にかかる費用の捻出方法



(参照：1. ① 質問 6 ※複数選択可) [n=342] [N=458]

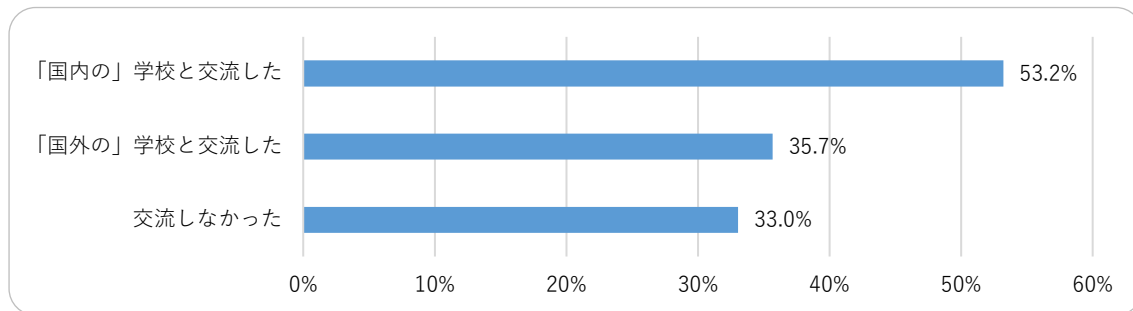
表 1 ユネスコスクールの活動にかかる費用助成団体

教育関連の助成をする企業	教育に関する地域の協議会
大学	公益財団法人や一般社団法人
地域のユネスコ協会	JA（農業協同組合）
地域の助成団体	ロータリークラブ
特定非営利活動法人	各校の同窓会、振興会
JICA	PTA

(参照：1. ① 質問 7) [n=68]

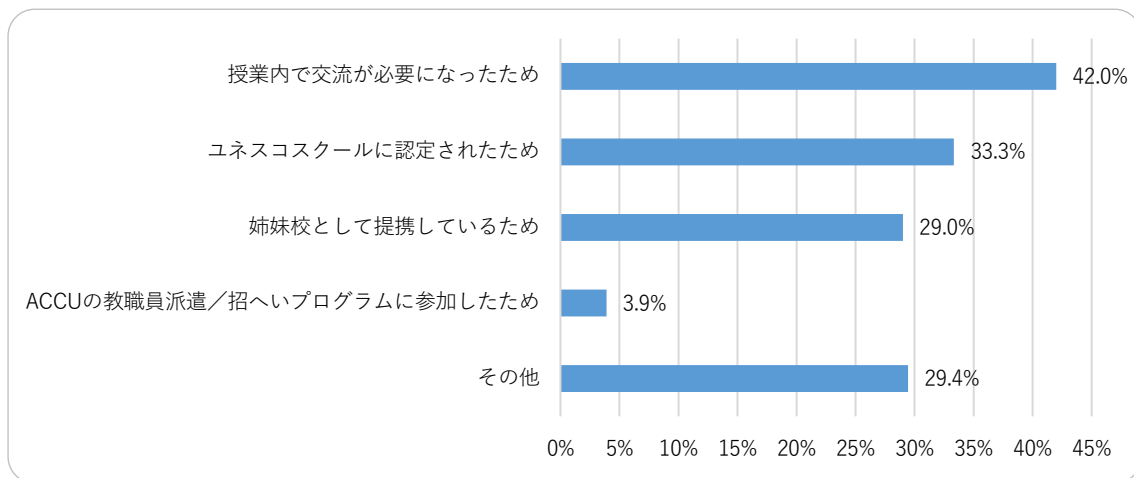
国内外の学校間交流について

図 9 国内外の学校との交流（ユネスコスクールに限定しない）



（参照：1. ② 質問 1 ※複数選択可）〔n=342〕〔N=417〕

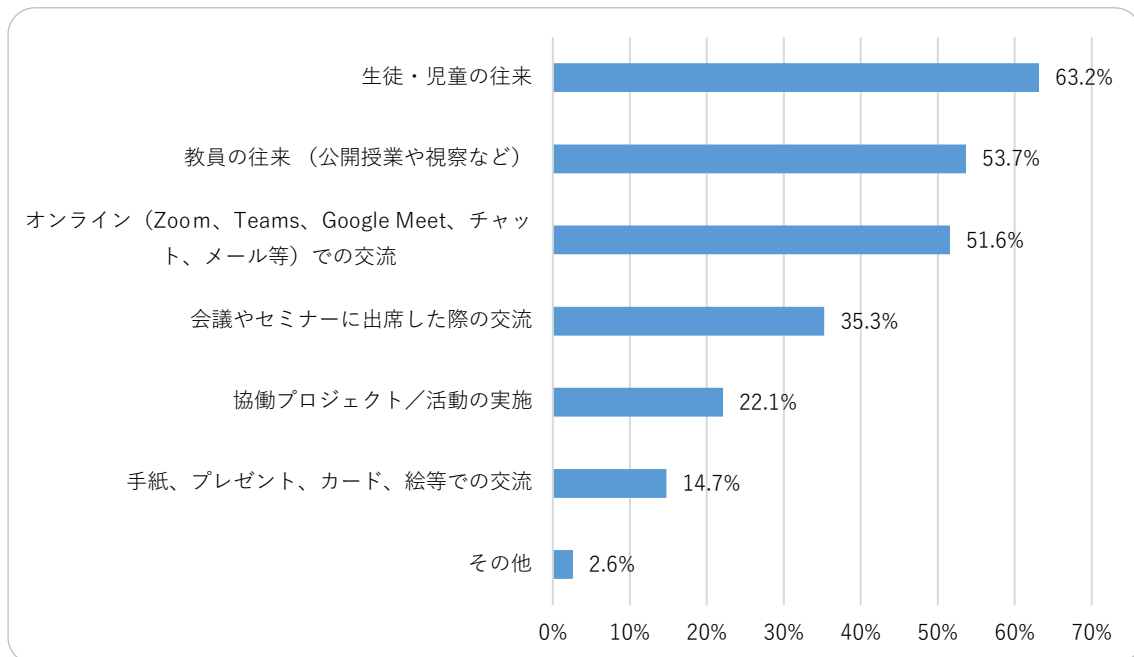
図 10 学校間交流を実施するようになったきっかけ



（参照：1. ② 質問 2 ※複数選択可）〔n=231〕〔N=318〕

その他の主な回答：「SSH 事業・WWL 事業での探究活動における交流」「教職員のつながり」「教育委員会に相談」「自治体からの働きかけ」「大学との交流・連携」

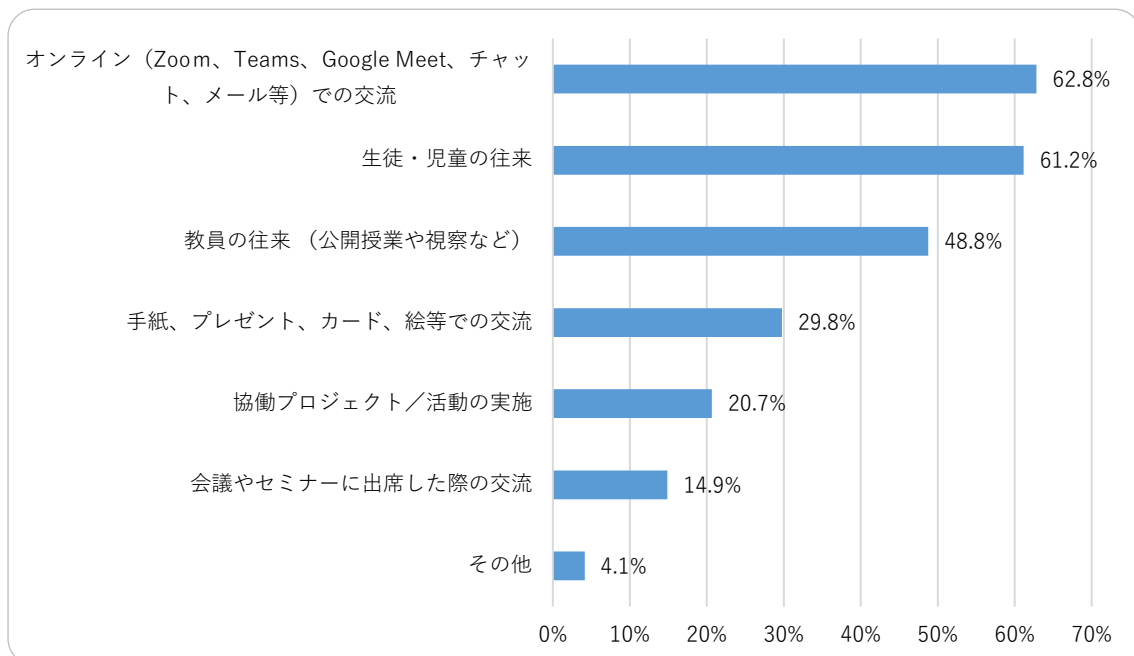
図 11 「国内の」学校間交流で実施した交流活動方法



（参照：1. ② 質問 3 ※複数選択可）〔n=190〕〔N=462〕

その他の主な回答：「海洋サミットへの参加（オンライン）」「集合型交流会」「ユネスコスクール子どもサミットへの参加」「発表 VTR の提供」「交流イベントの開催」

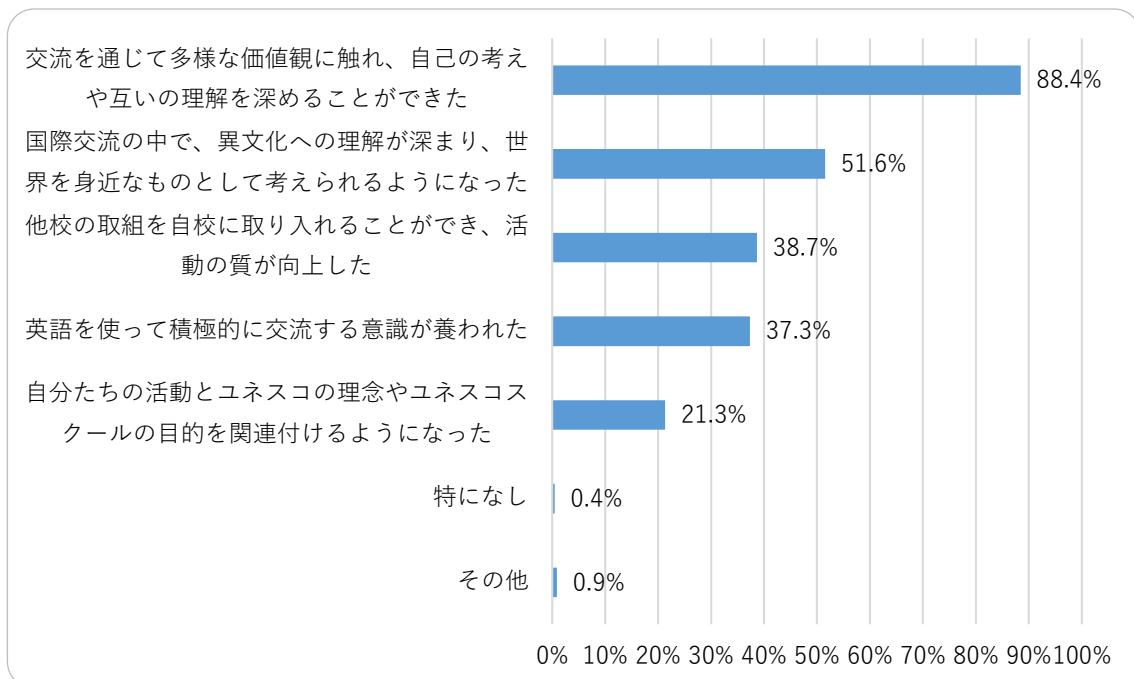
図 12 「国外の」学校間交流で実施した交流活動方法



（参照：1. ② 質問 4 ※複数選択可）〔n=121〕〔N=293〕

その他の主な回答：「自校で製作した英語、中国語、ウルドゥー語のリーダー教材の提供を通じて」「修学旅行時に現地訪問」「国外からの中高生受け入れ」「交流イベント」

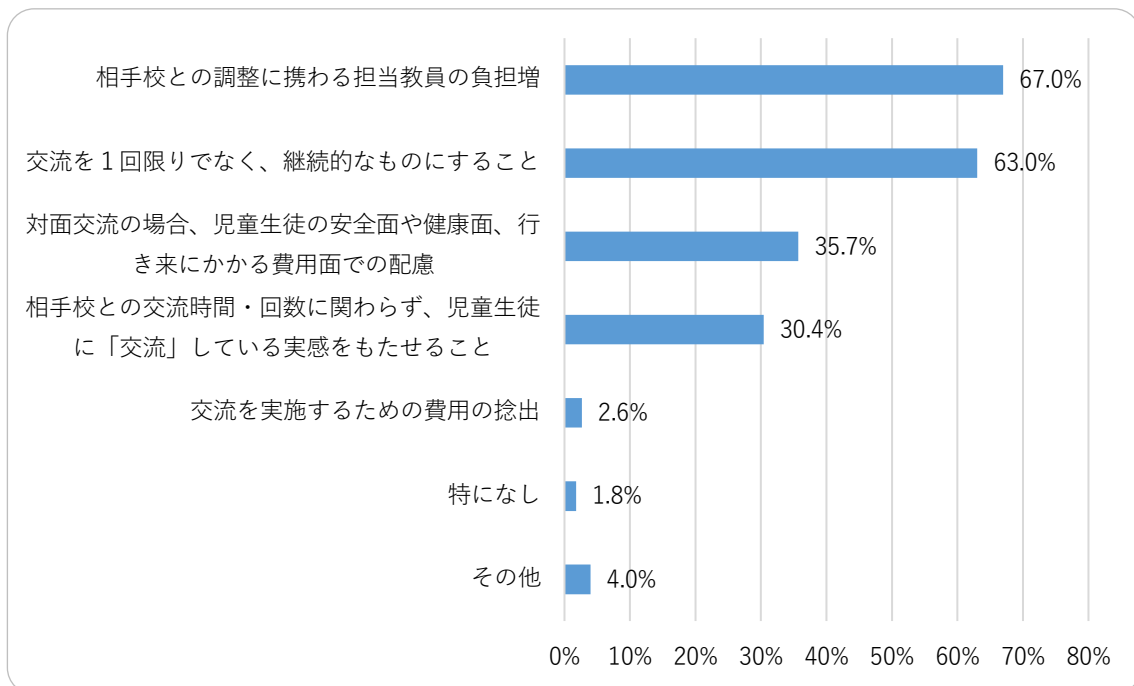
図 13 学校間交流の主な成果



(参照：1. ② 質問 5 ※複数選択可) [n=225] [N=537]

その他の主な回答：「ESD や SDGs について認知することで視野が広がり、ボランティア活動への積極的参加が見られるようになった」「楽しく有意義な時間を過ごすことができた」

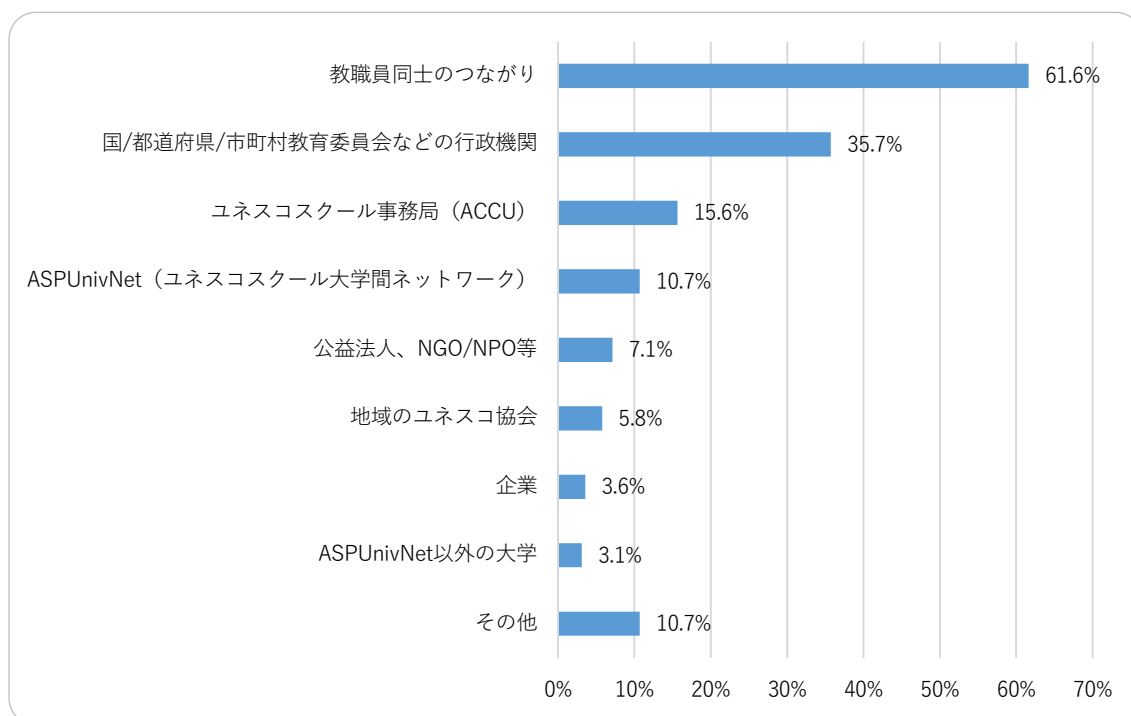
図 14 学校間交流の主な課題



(参照：1. ② 質問 6 ※複数選択可) [n=227] [N=464]

その他の主な回答：「通信の不具合」「時差」「交流での気づきを自校の取組に生かすこと」「目的意識の共有」

図 15 学校間交流に関する情報収集先



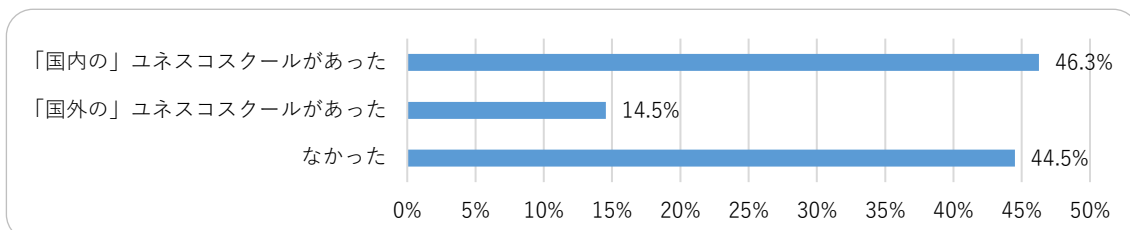
（参照：1. ② 質問 7 ※複数選択可）〔n=224〕〔N=345〕
 その他の主な回答：「UNESCO 本部」「交流相手校のホームページ」

表 2 学校間交流に関する支援団体/ネットワーク

国/都道府県/市町村教育委員会などの行政機関	教育に関する地域の協議会
地域のユネスコ協会	公益財団法人や一般社団法人
ASPUnivNet	大学
ロータリークラブ	企業
NPO 法人	他国の行政機関

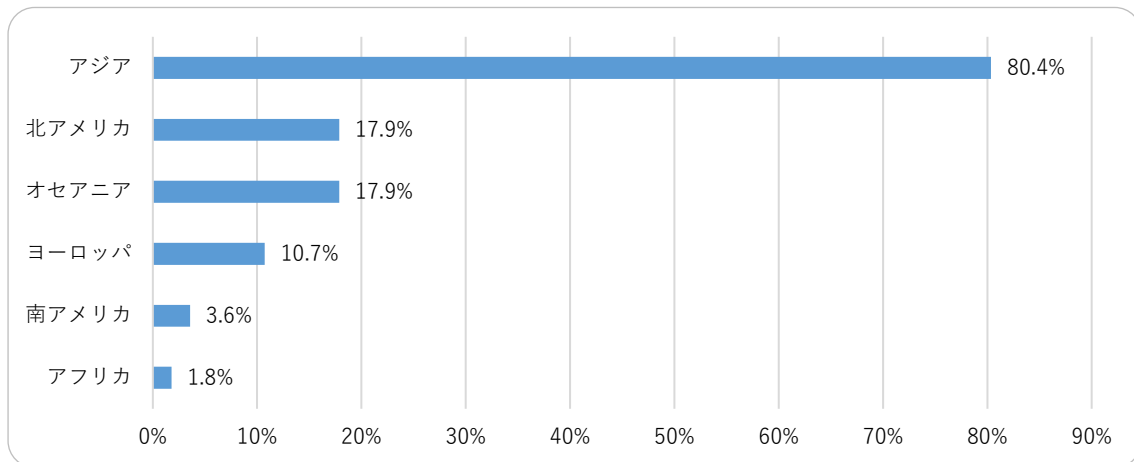
（参照：1. ② 質問 8）〔n=52〕

図 16 国内外のユネスコスクールとの交流



（参照：1. ② 質問 9 ※複数選択可）〔n=227〕〔N=239〕

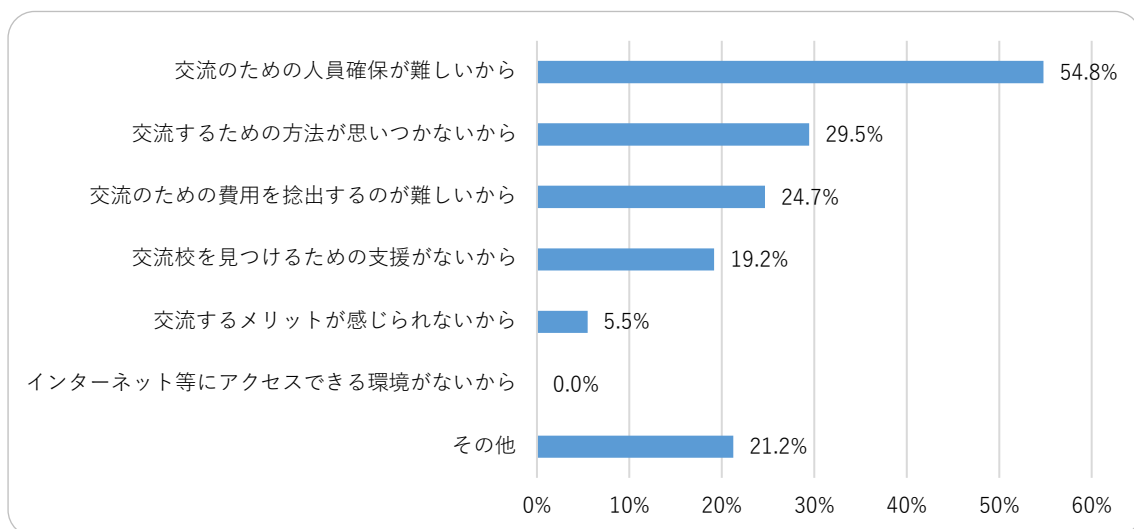
図 17 国外交流校の地理区分



(参照：1. ② 質問 10 ※複数選択可) [n=56] [N=74]

主な国（地域）名：「アメリカ合衆国」「韓国」「マレーシア」「台湾」「オーストラリア」「タイ」「ニュージーランド」

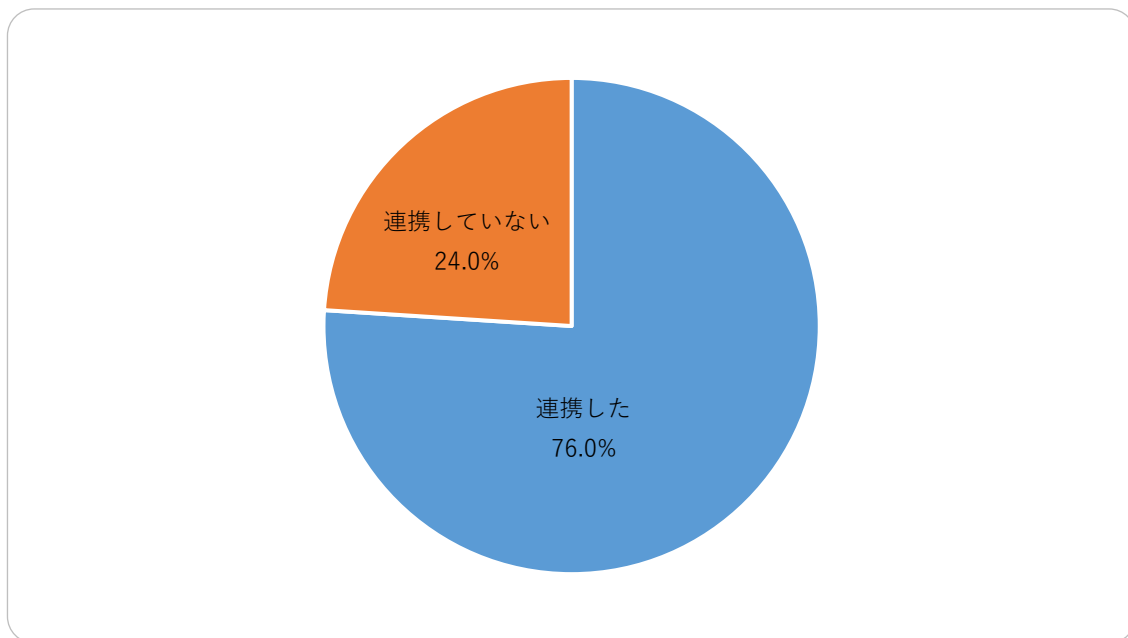
図 18 交流しなかった理由



(参照：1. ② 質問 11 ※複数選択可) [n=146] [N=226]

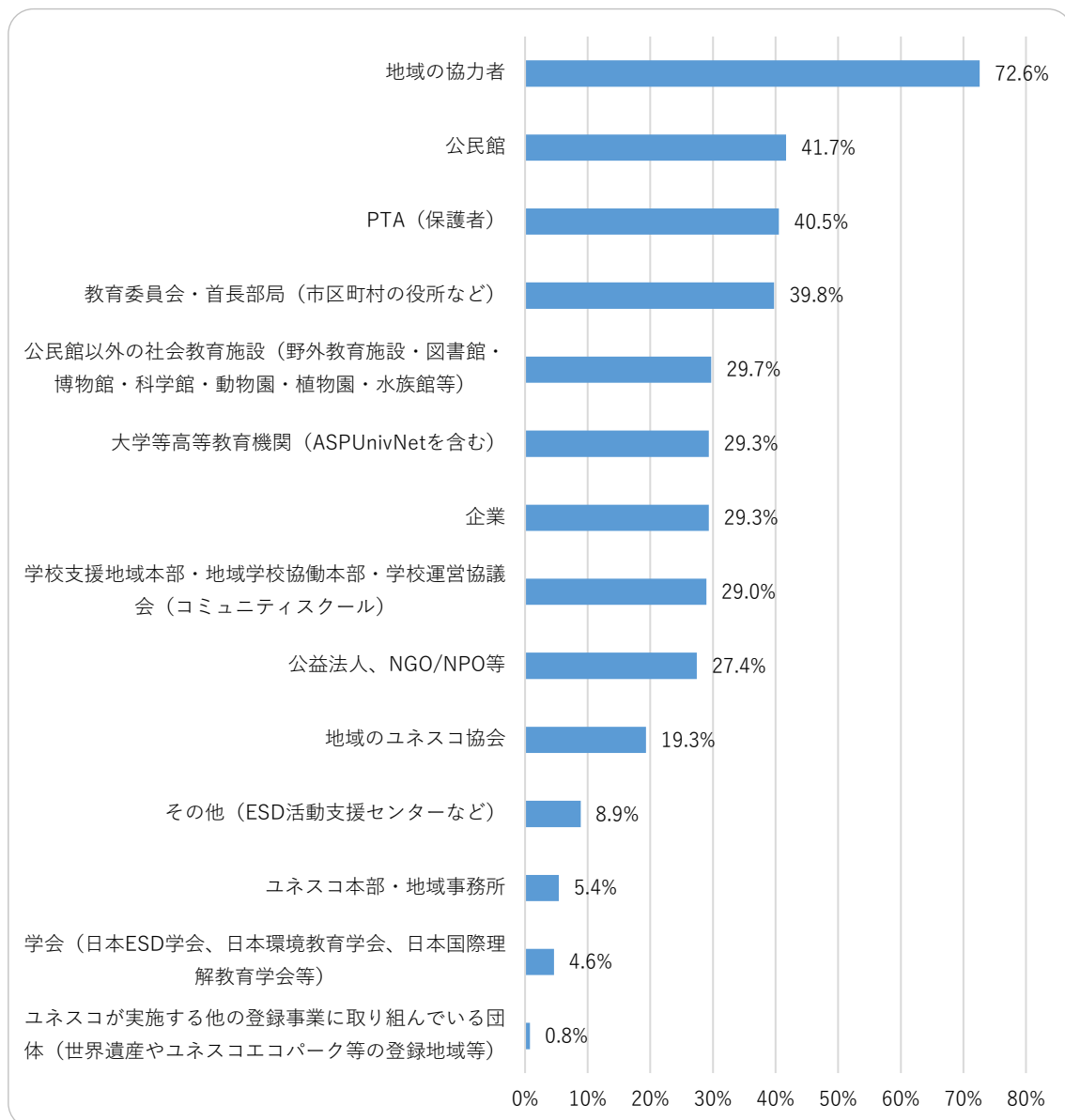
その他の主な回答：「コロナ禍で交流が途絶えたから」「日程調整が困難だったから」「地域の方との交流を優先しているから」「生徒が消極的」

図 19 外部団体との連携の有無



(参照：1. ③ 質問 1) (n=342)

図 20 連携先の外部団体

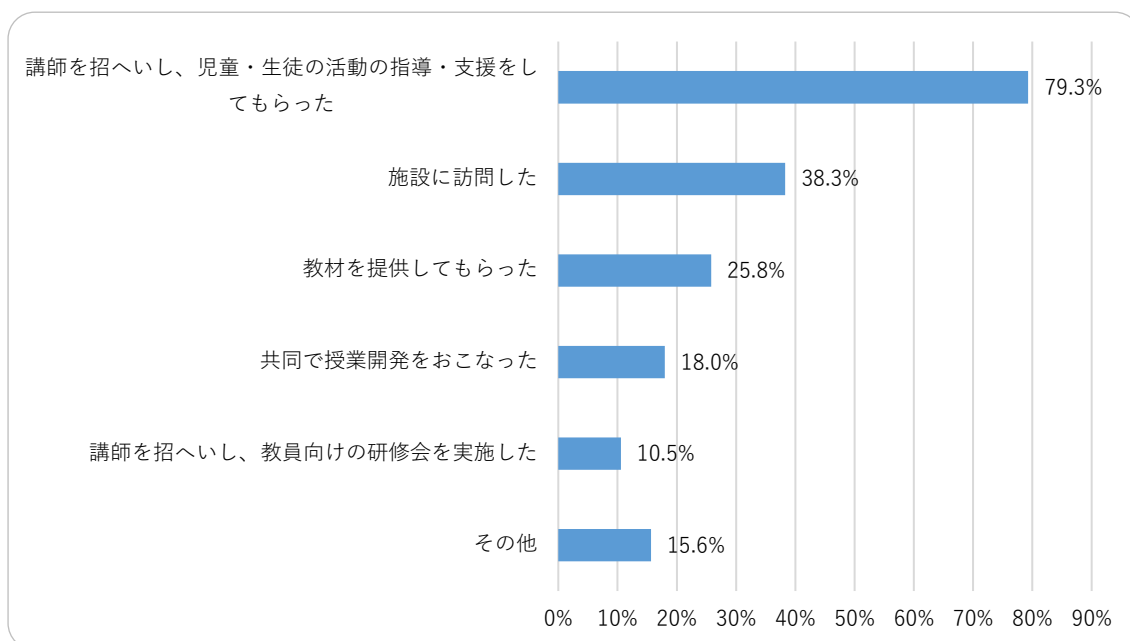


（参照：1. ③ 質問2 ※複数選択可）〔n=259〕〔N=980〕

ユネスコが実施する他の登録事業のうち、具体的に連携している事業や団体：「小笠原世界遺産センター、小笠原海洋センター、小笠原自然文化研究所」

その他の主な回答：「ESD 活動支援センター」「地域の公的機関や施設」「他国の大使館」「地域のボランティア団体」

図 21 外部団体との連携内容



(参照：1. ③ 質問 3 ※複数選択可) [n=256] [N=480]

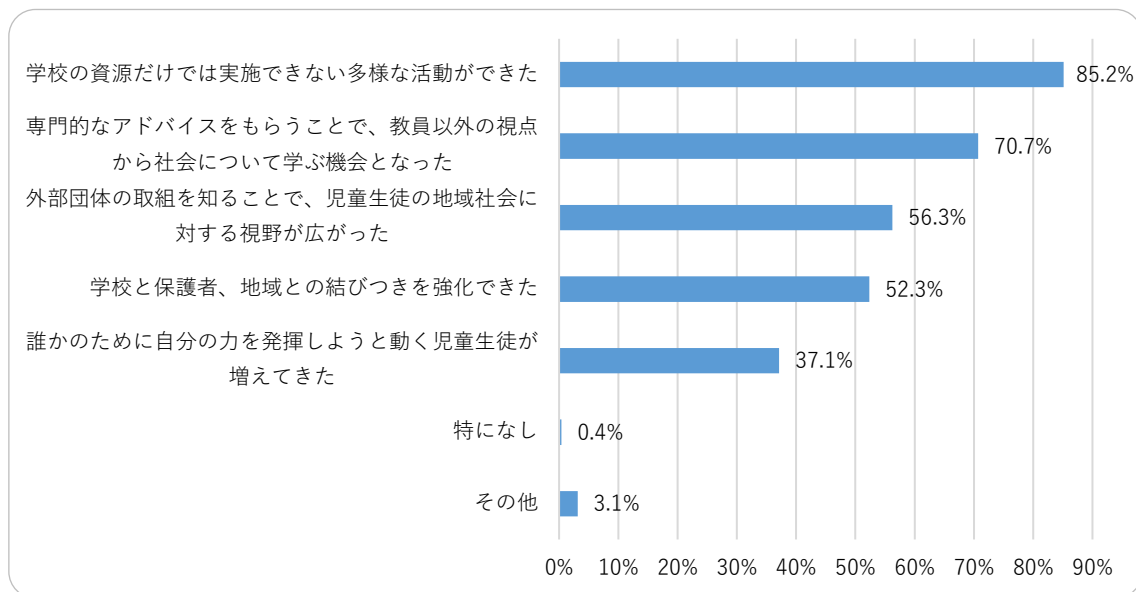
その他の主な回答：「福祉施設へ贈り物を送った」「自治体の SDGs 推進事業に参加した」「ボランティアへの参加」「ユネスコスクール発表会の来賓として助言を頂いた」

表 3 外部団体と交流することになった主なきっかけ

ユネスコスクールに認定された	教育委員会からの情報提供
地域のユネスコ協会の協力	地域や教職員同士のつながり
企業からの提案を受けたり、学校から協力をお願いした	地域の NPO 法人とのつながり

(参照：1. ③ 質問 4) [n=206]

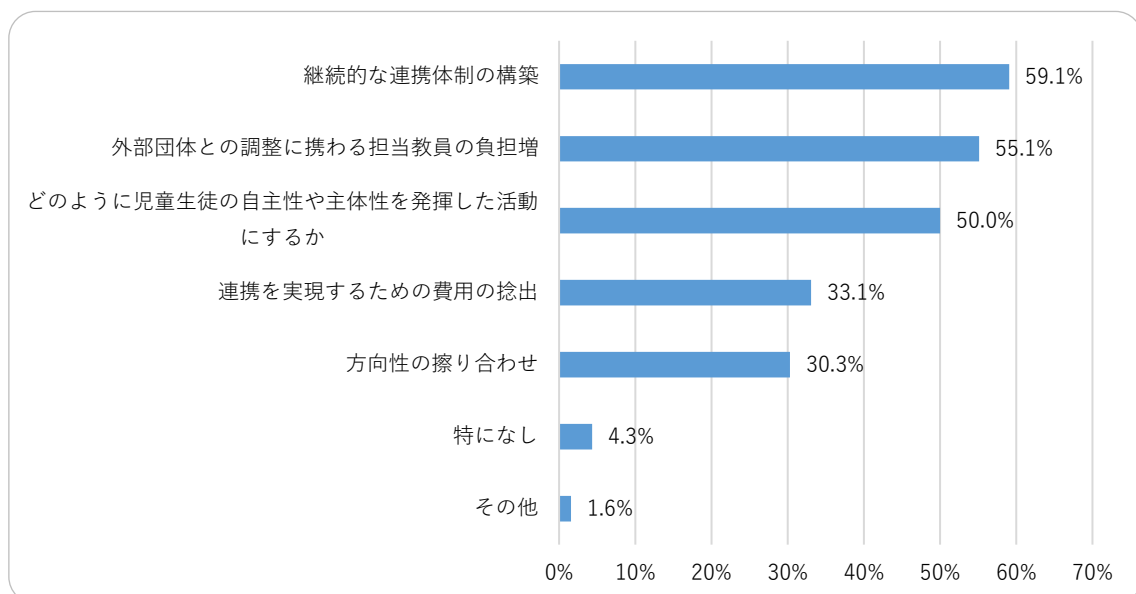
図 22 外部団体と交流したことによる主な成果



(参照：1. ③ 質問 5 ※複数選択可) [n=256] [N=781]

その他の主な回答：「相手校との仲介に入り、日程調整や通訳等でご尽力いただいている」「外部団体にとっても、地域の教育資源の価値を再発見していただくことができた」「学習の幅が大きく広がり、子供たちが意欲的、かつ主体的に活動することができた」

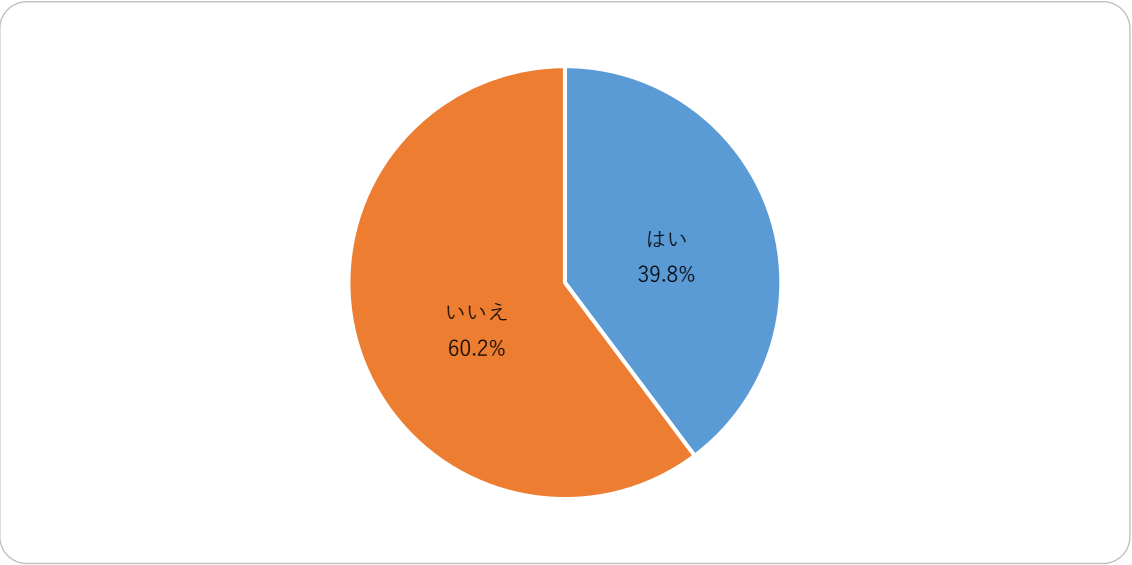
図 23 外部団体と交流したことによる主な課題



(参照：1. ③ 質問 6 ※複数選択可) [n=254] [N=593]

その他の主な回答：「行事との兼ね合い」「どの外部団体と連携しているのか把握しきれていない」

図 24 校外における ESD・ユネスコ活動に関する研修への参加の有無



(参照：1. ③ 質問 7)〔n=342〕

表 4 研修会を主催していた主な団体

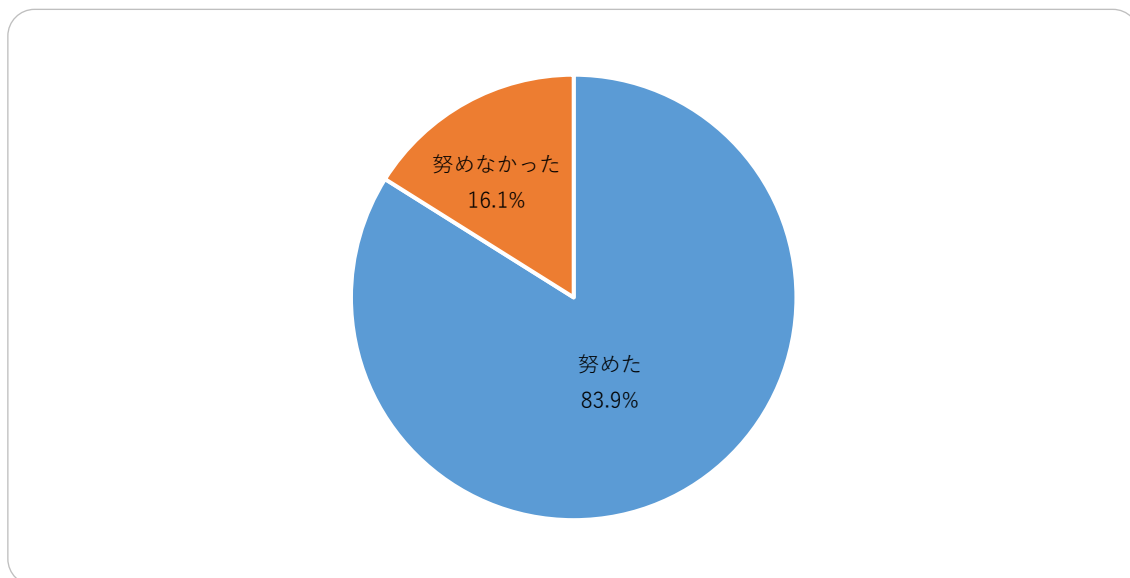
国/都道府県/市長村教育委員会などの行政機関	教育に関する地域の協議会
教育関連の助成をする公益財団法人や一般社団法人	地域のユネスコ協会
ユネスコスクール地域ネットワーク	ASPUivNet、大学機関
各地の ESD コンソーシアム	ユネスコ関連機関

(参照：1. ③ 質問 8)〔n=127〕

※ 質問 9 の回答結果につきましては、事務局にてイベント情報収集のための参考とさせていただきます。

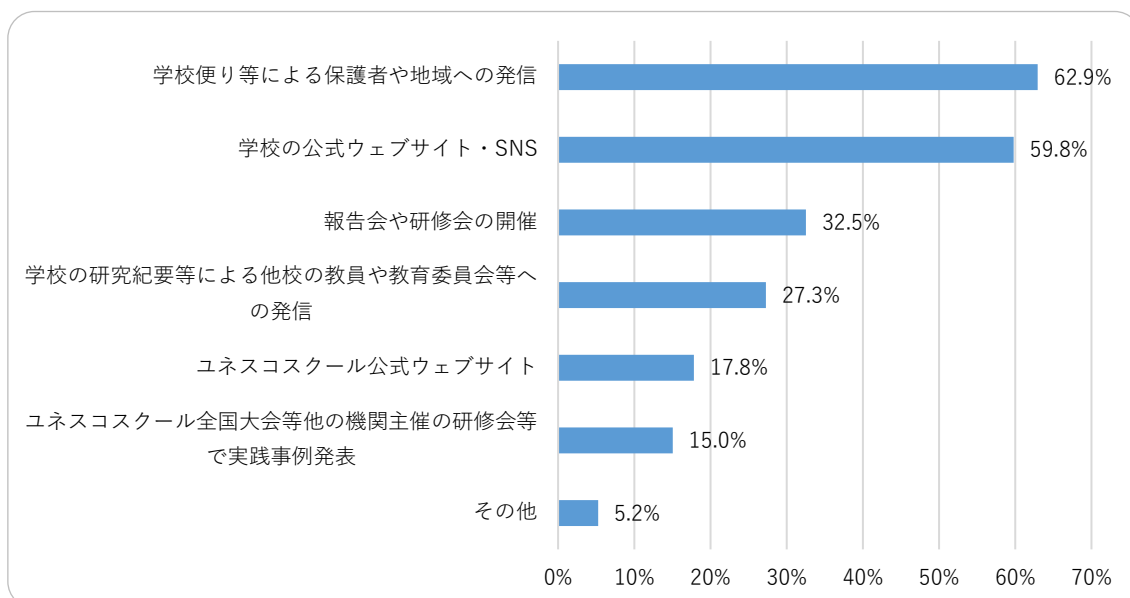
ESD の推進拠点としての活動成果の発信

図 25 ユネスコスクールに係る教育活動の実践等の発信、理念の普及



(参照：1. ④ 質問 1) (n=342)

図 26 成果の発信・普及方法



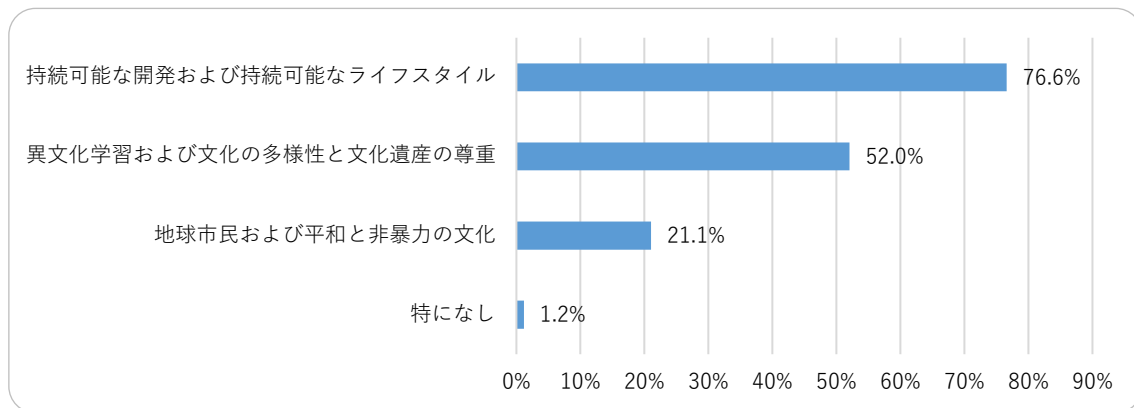
(参照：1. ④ 質問 2 ※複数選択可) (n=286) (N=631)

その他の主な回答：「文化祭での生徒会展」「新聞などのメディアの活用」「海外視察訪問者に対するプレゼン」「ユネスコ協会 SDGs パスポート体験発表会の事務局を担った」

ユネスコスクールとしての活動の成果

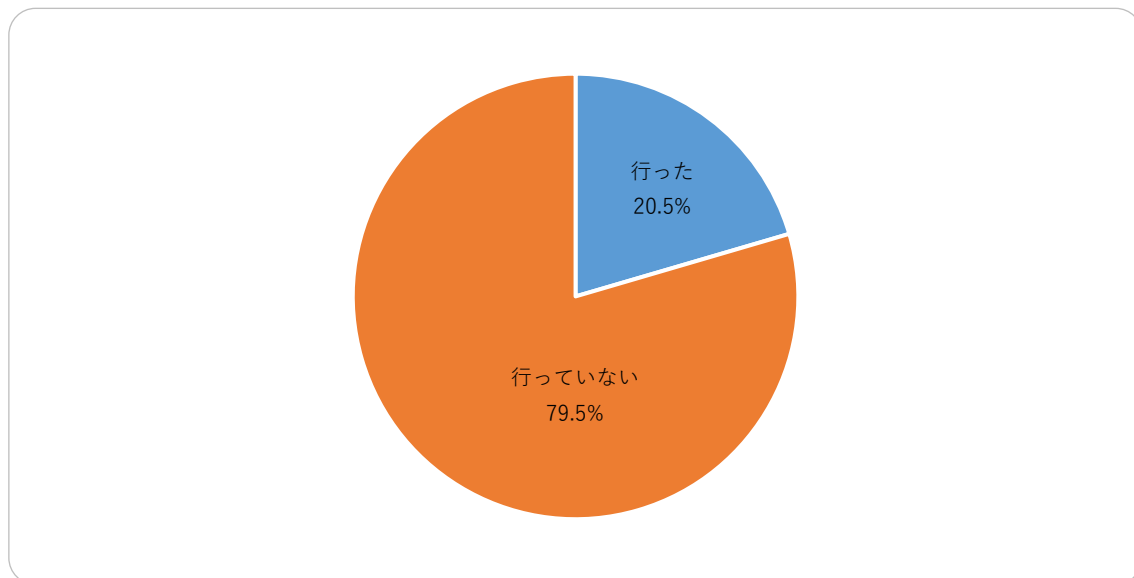
ユネスコスクールに求められる活動

図 27 ユネスコスクールが重点的に取り組む 3 つの分野のうち、特に活動成果のあるもの



(参照：2. ① 質問 1 ※複数選択可) [n=342] [N=516]

図 28 国際デーを取り上げた学校行事



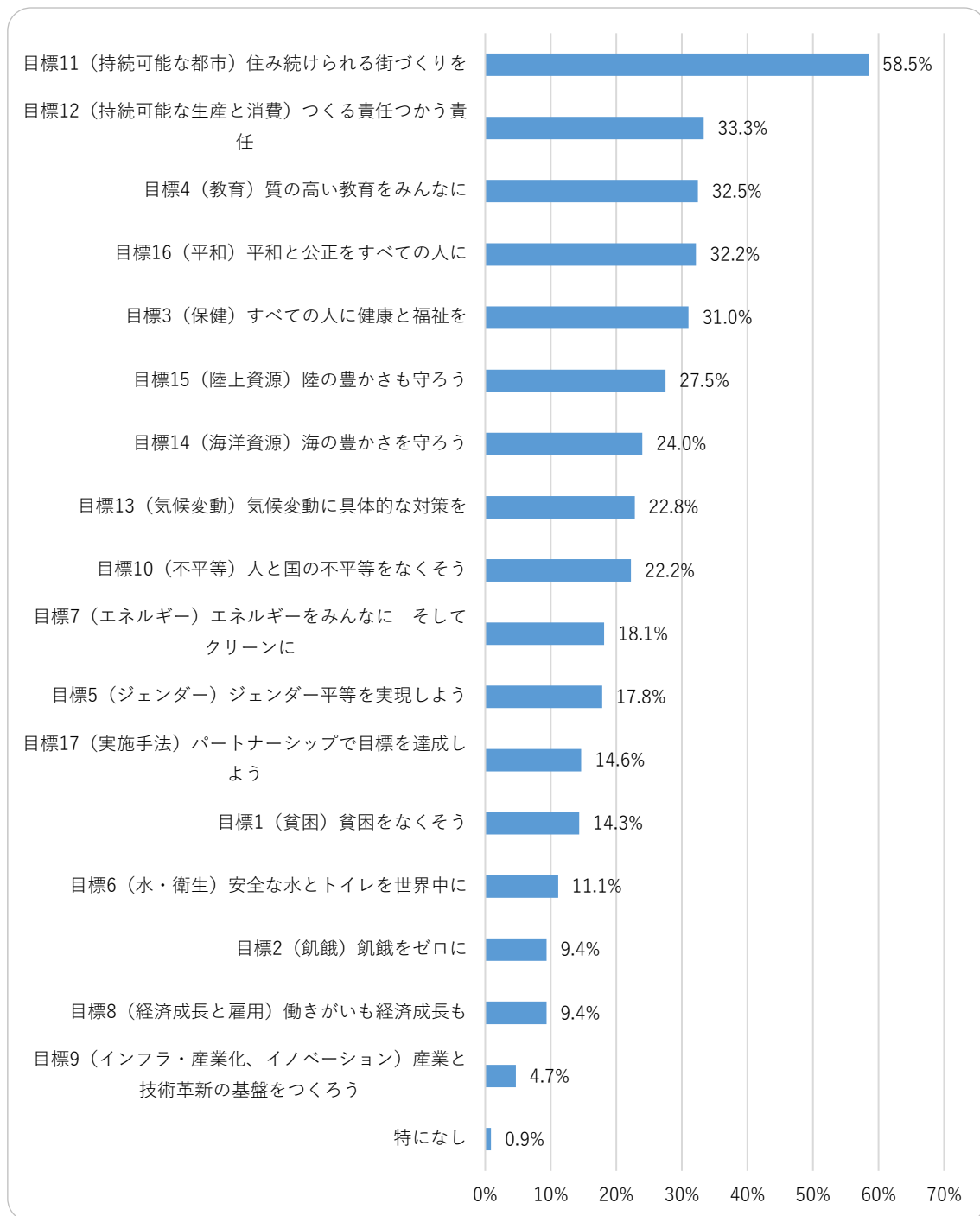
(参照：2. ① 質問 2) [n=342]

表 5 学校行事で取り上げた主な国際デー

国際生物多様性の日（5/22）	ネットいじめを含む、学校での暴力といじめに反対する国際デー（11月の第1木曜日）
世界環境デー（6/5）	世界津波の日（11/5）
世界海洋デー（6/8）	世界子どもの日（11/20）
持続可能な食文化の日（6/18）	世界エイズデー（12/1）
ヘイトスピーチと闘う国際デー（6/18）	国際障害者デー（12/3）
世界難民の日（6/20）	世界人権デー（12/10）
世界人口デー（7/11）	世界点字デー（1/4）
国際識字デー（9/8）	世界教育デー（1/24）
国際平和デー（9/21）	世界豆デー（2/10）
食品のロスと廃棄に関する啓発の国際デー（9/29）	科学における女性と女兒の国際デー（2/11）
世界教師デー（10/5）	世界ラジオデー（2/13）
国際防災デー（10/13）	イスラム恐怖症と闘う国際デー（3/15）
世界食料デー（10/16）	国際幸福デー（3/20）

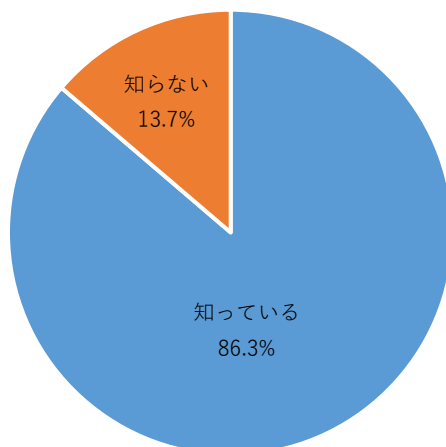
（参照：2. ① 質問3）〔n=71〕

図 29 ユネスコスクールの教育活動で取り上げた SDGs17 の目標



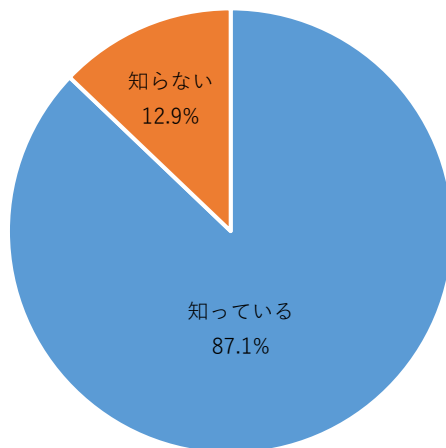
(参照：2. ① 質問4 ※複数選択可) [n=342] [N=1,314]

図 30 「ESD:SDGs 達成に向けて (ESD for 2030)」の認知度



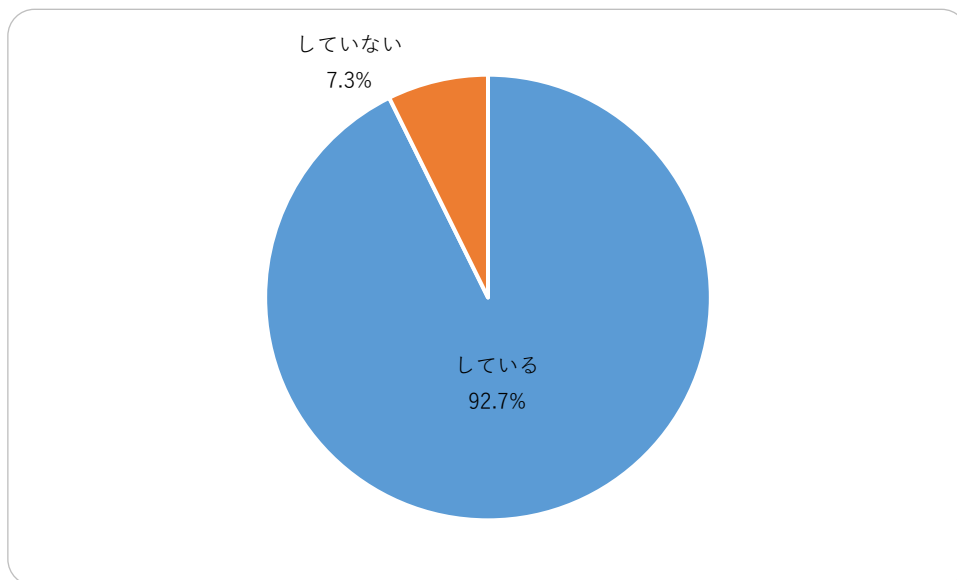
(参照：2. ② 質問 1) [n=342]

図 31 SDGs 目標 4 (教育) ターゲット 4.7 の認知度



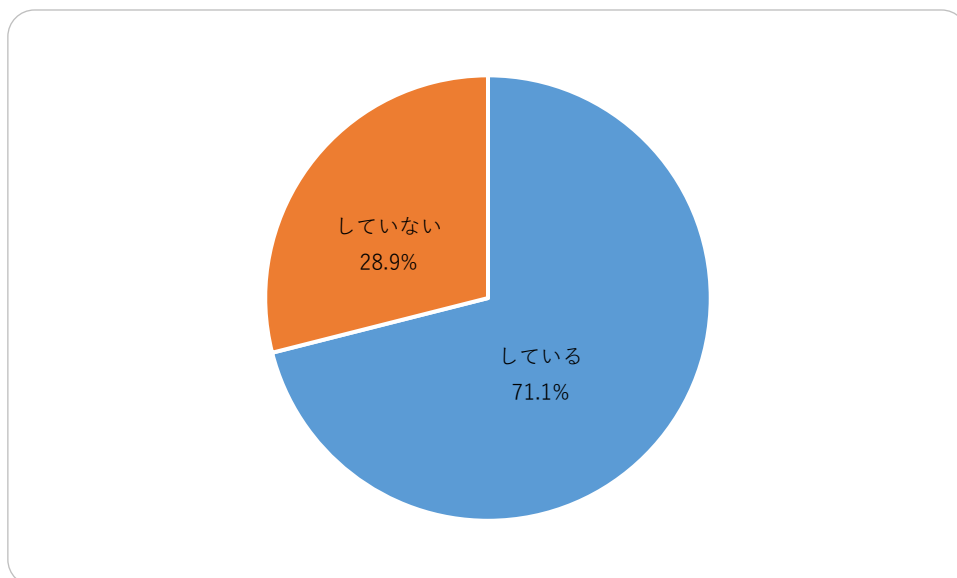
(参照：2. ② 質問 2) [n=342]

図 32 ユネスコスクールにおける教育活動を通じた育みたい資質・能力の明確化



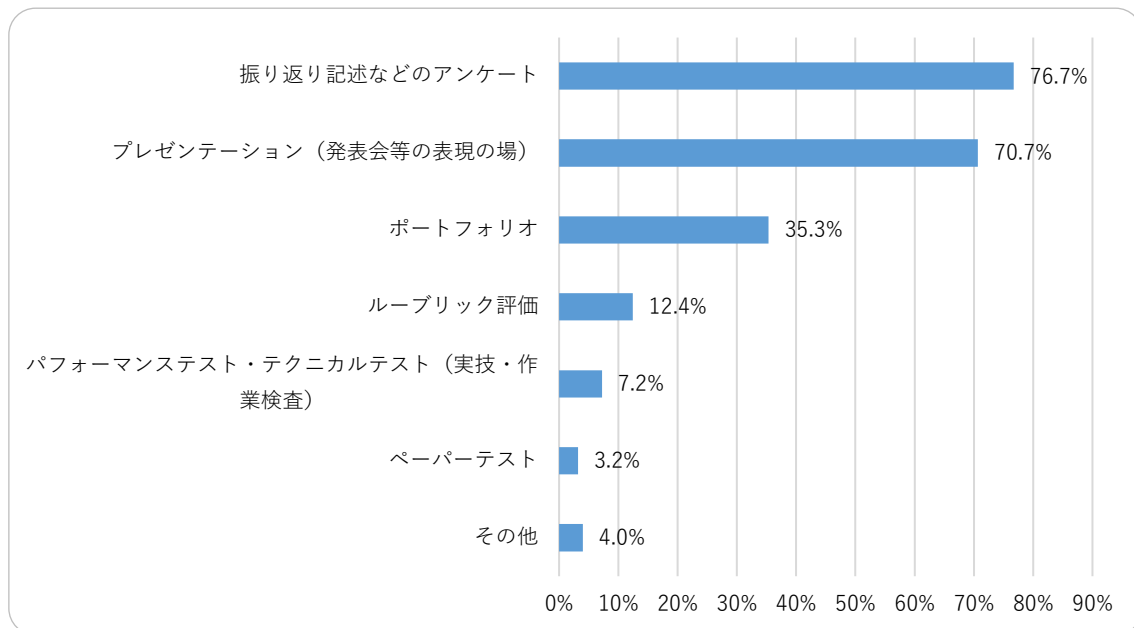
(参照：2. ③ 質問 1 (1)) (n=342)

図 33 ユネスコスクールとして身に付いた資質・能力を捉えるための評価



(参照：2. ③ 質問 1 (2)) (n=342)

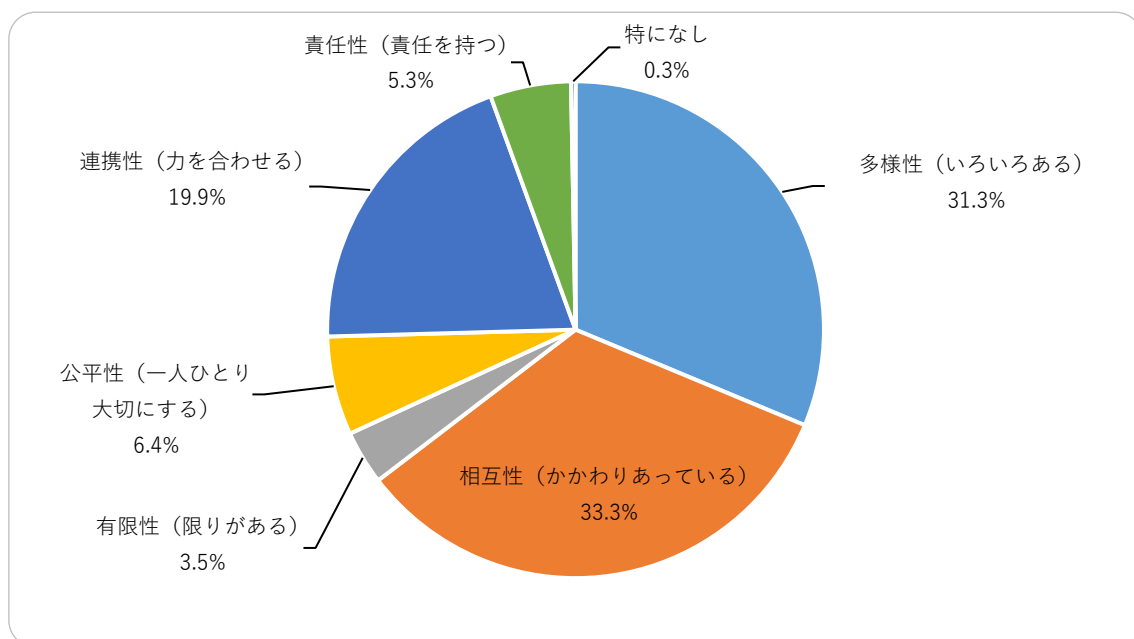
図 34 ユネスコスクールにおける教育活動を評価するための評価方法



（参照：2. ③ 質問 1（3）（※複数選択可））〔n=249〕〔N=522〕

その他の主な回答：「保護者、生徒による学校自己診断アンケート」「幼児の活動から事例を収集し、定期的なカンファレンスで SDGs とのつながりを検討/評価している」「幼児児童生徒の様子から」

図 35 最も変化の見られた持続可能な社会づくりを構成する 6 つの視点



（参照：2. ③ 質問 1（4））〔n=342〕

表 6 ユネスコスクール活動を通して身についた主な資質・能力

思考力、判断力、表現力	学びに向かう力
豊かな人間性	知識及び技能
地域/社会貢献への意識	自分から解決策を考える力
コミュニケーション力	他者に対する共感力と対応力
批判的思考	環境問題への興味関心、行動力
他者を理解し尊重しようとする受容力	ESD や SDGs を基盤に位置付けた学習の姿勢
未来像を予測して計画を立てる力	多面的、総合的に考える力
多様性を認めるだけでなく多様性を楽しむ態度	様々な視点を取り入れながら主体的に追究していく力
問題発見能力と問題解決に向けての思考・行動力	目標達成に向けたチームワーク
地球の諸問題を自分ごと化するための想像力や共感力	伝統文化継承の重要性及び地域への誇り

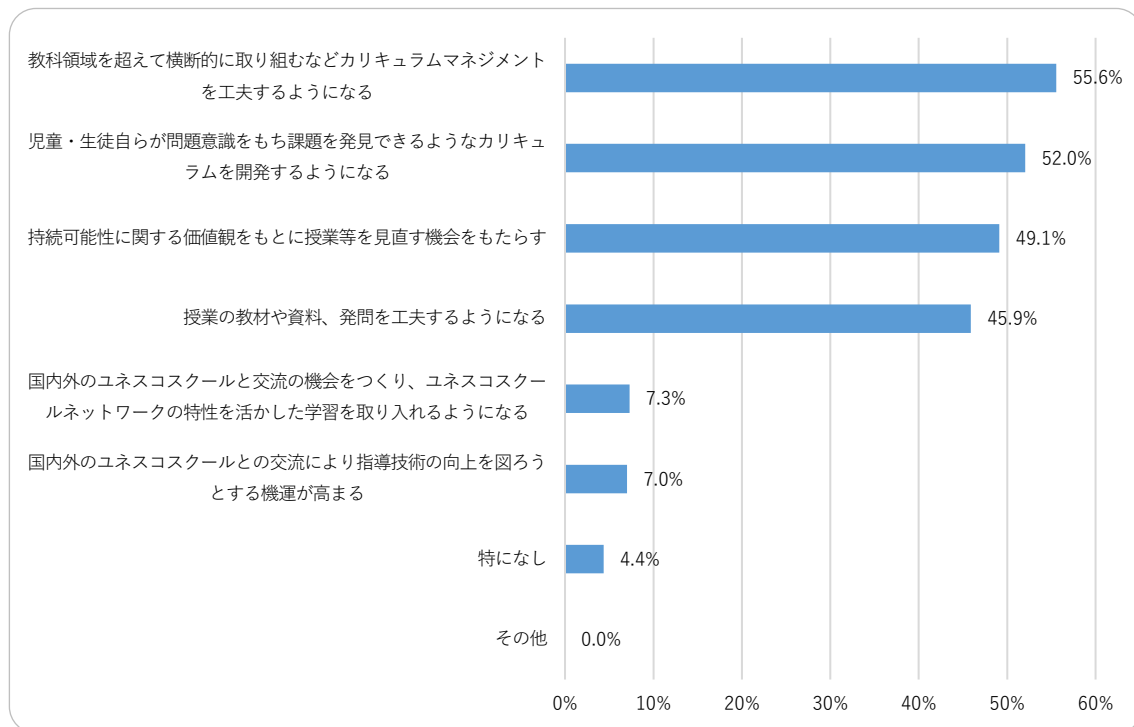
(参照：2. ③ 質問 1 (5))〔n=191〕

表 7 児童生徒の変化を促した主なきっかけ

地域とのつながりがある教育活動	海外の学校間交流
総合的な学習や探究の時間での体験学習を通じた学び	発表会など、成果を表現する機会を設けたこと
外部からの講師招へい	ユネスコスクールとの協働事業
児童生徒主体の学習活動	企業企画の ESD 推進活動参加

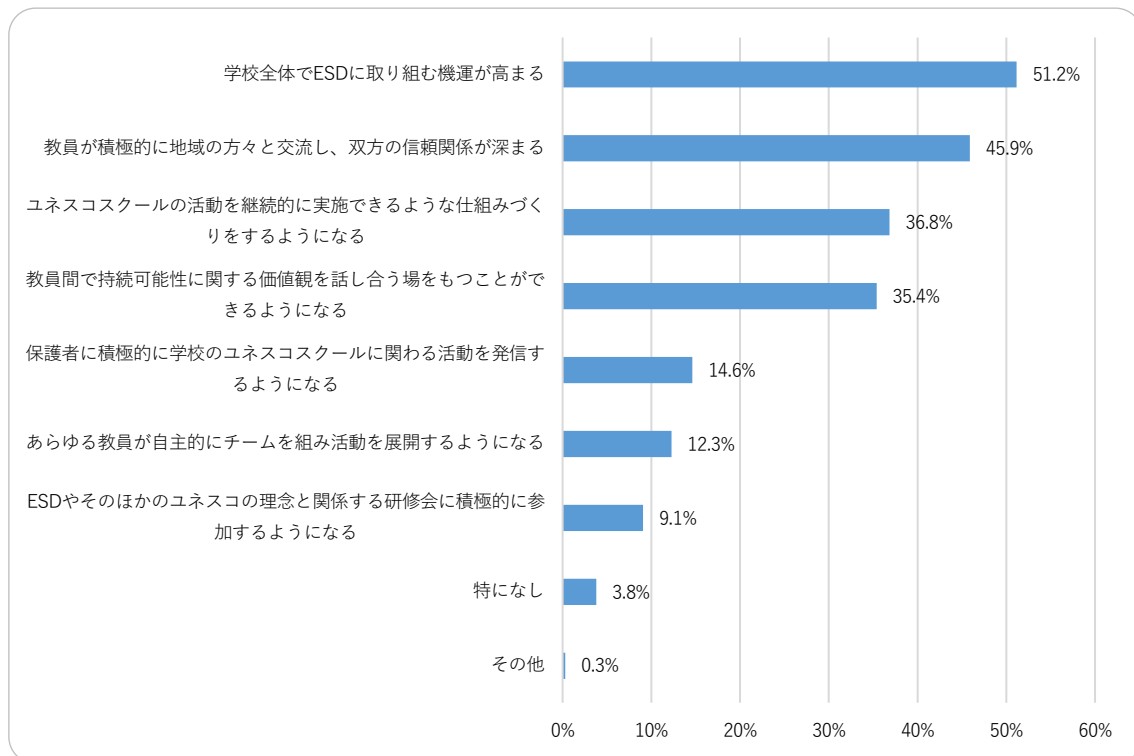
(参照：2. ③ 質問 2)〔n=179〕

図 36 ユネスコスクールの教育活動による教員のカリキュラム・教授法の変化



(参照：2. ③ 質問 3 (1) ※複数選択可) [n=342] [N=757] その他の主な回答：なし

図 37 ユネスコスクールの教育活動による教員の学校運営の変化

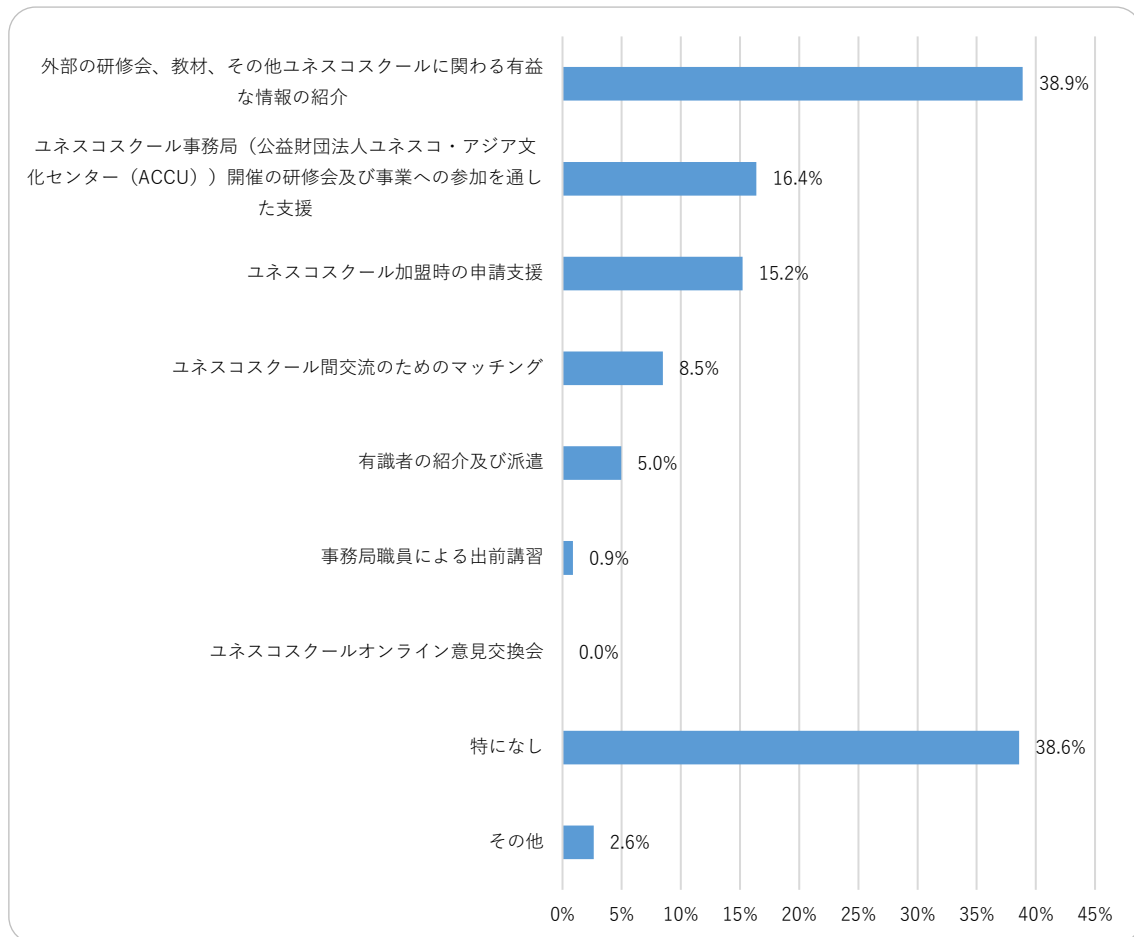


(参照：2. ③ 質問 3 (2) ※複数選択可) [n=342] [N=716]

その他の主な回答：「生徒自身の学びの機会をうむことができる」

ユネスコスクール支援の利用状況

図 38 ユネスコスクール事務局の利用状況



（参照：3. 質問 1 ※複数選択可）〔n=342〕〔N=431〕

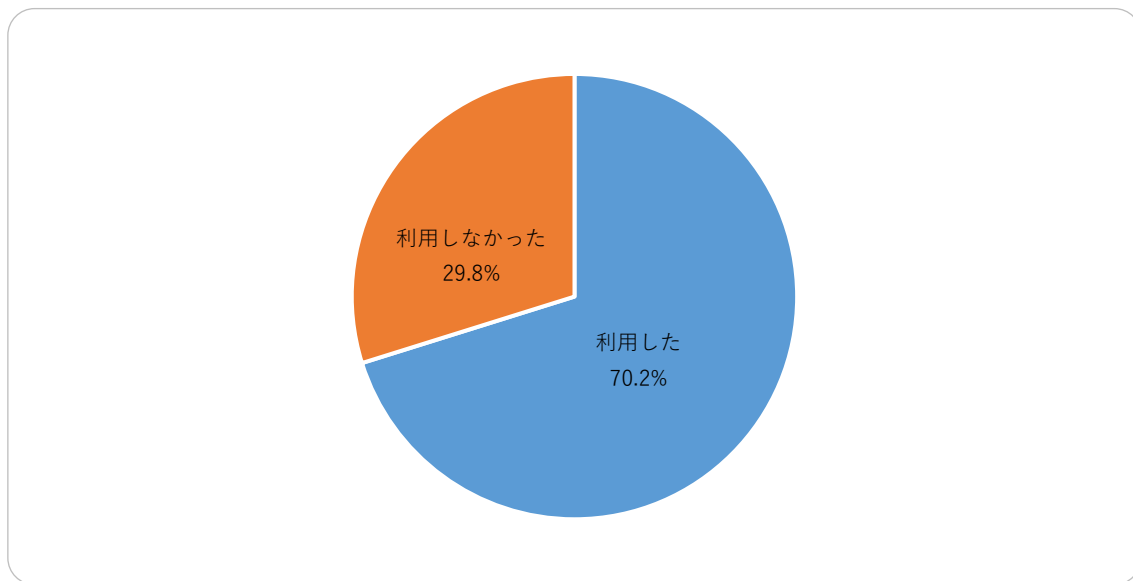
その他の主な回答：「メールによる情報提供」「活動報告提出のサポート」「助成金申請時のサポート」「探究学習の講師（教員研修会）」

表 8 ユネスコスクール事務局に求める支援内容

海外ユネスコスクールとの交流支援	教育活動に関心がある地域企業や団体の情報
幼児期の ESD 活動についての情報提供	出前授業等で利用できる人材や企業リストの提供
近隣ユネスコスクールとの連携への働きかけ	中学生が取り組めるボランティアの紹介
生徒向け研修の継続的な案内	活動費用に対する支援

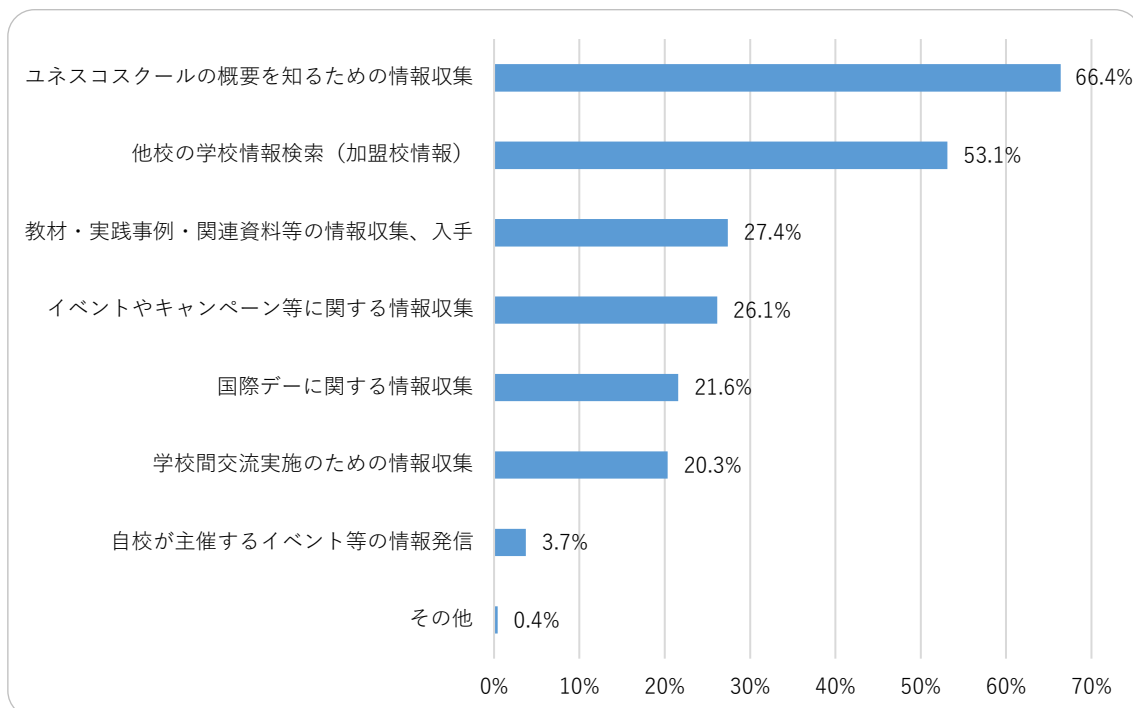
（参照：3. 質問 2）〔n=79〕

図 39 ユネスコスクール公式ウェブサイトの利用状況



(参照：3. 質問 3)〔n=342〕

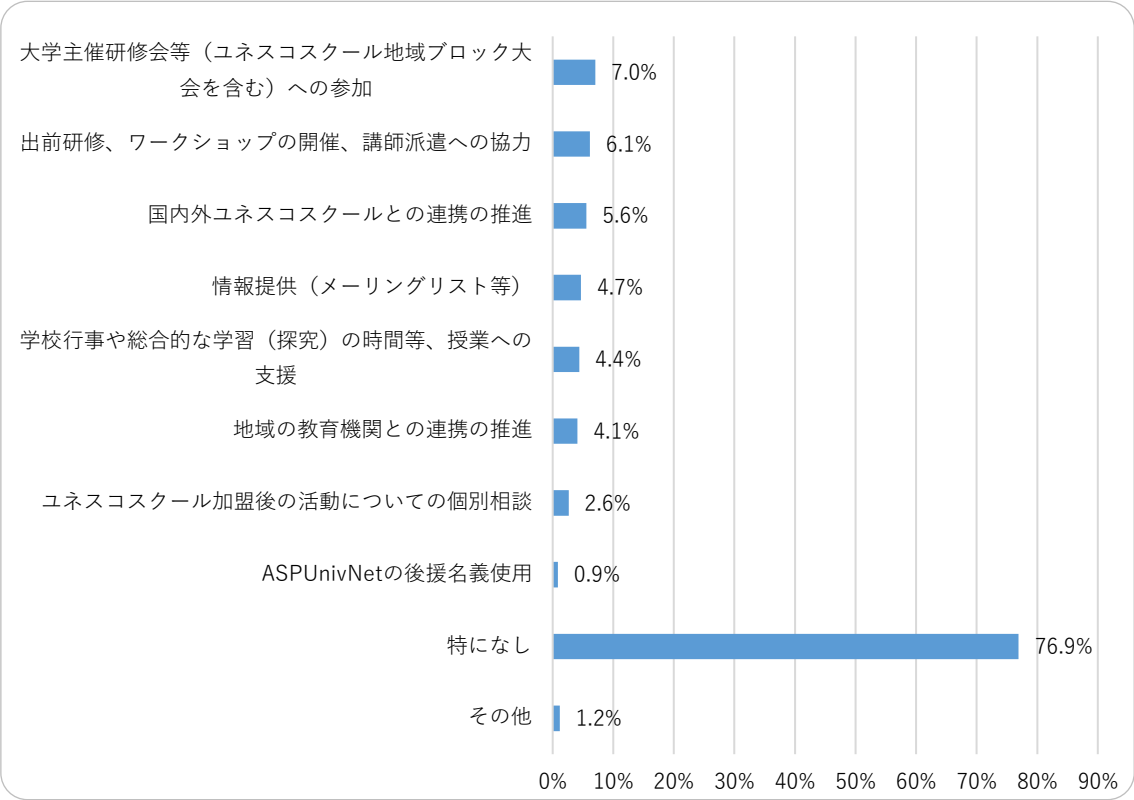
図 40 ユネスコスクール公式ウェブサイト機能の利用状況



(参照：3. 質問 4 ※複数選択可)〔n=241〕〔N=528〕

その他の主な回答：「公式サイトへの活動報告が自校の活動記録や資料の集積の場となっている」

図 41 ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)からの協力・支援内容



（参照：3. 質問5 ※複数選択可）〔n=342〕〔N=388〕

表 9 ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)からのその他の支援

京都外国語大学と本校「グローバル部」との交流への支援・協力
研修に参加した
一般的な支援情報（チラシ）
大学のフィールドワークとして参加された学生や現職教員に向けて、本校の授業参観や、ユネスコスクールとしての活動紹介を行った

（参照：3. 質問6）〔N=5〕

----- 制作 -----

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

E-mail : webmaster@accu.or.jp URL : <https://www.accu.or.jp>

ユネスコスクール公式ウェブサイト : <https://www.unesco-school.mext.go.jp/>

令和 6（2024）年度 ユネスコ未来共創プラットフォーム事業の一環として文部科学省の委託を受けて作成しております。
